

令和2年度計画重点項目

1. 県民からの期待に応える存在意義の高い大学

「地域貢献・教育重視型大学」実現のための大学改革の推進や、浜田キャンパス新学部学科設置に向けた準備を進める。

- 大学改革本部は、魅力ある大学づくりや大学運営にかかる重要な課題に応じた専門部会を設置し、改革の基本方針を策定する。方針の策定過程においては、学生ニーズの把握に努めるとともに学外アドバイザーを積極的に活用する。(No. 1)
- 令和3年4月の新学部開設に向けて、組織運営や教学運営方法などについて決定し、規程整備を行う等の準備を確実に行う。また、新学部の特色や魅力について積極的な情報発信を行なうほか、連携校推薦の導入などを柱とする入試制度改革を通じ、コース毎のアドミッションポリシーに即した、意欲的な学生を募る。(No. 4、5、6)

2. 地域に貢献する人材を輩出する大学

高大連携の強化とともに、県内企業や行政と連携した地域の担い手となる人材の県内定着への取組みを推進する。

- 「高校魅力化事業」をもとに、県内高校との協働及び連携活動をさらに促進させ、引き続き高校と共同でカリキュラム化に取り組む。(No. 26)
- ポストCOC+（しまねコンソーシアム事業）の枠組みや島根県中小企業家同友会との包括的連携協定を活用し、学生が地元企業を知る機会から就職までを産業界と連携して取り組む。
 - I 産業界と連携した教育プログラムを「①浅く知る」、「②深掘をする」、「③選択をする」、の3つのステージを意識して実施する。
 - II 長期実践型インターンシップの試行継続と制度構築の協議を検討する。(No. 44-1)

3. 地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

研究成果を教育や地域に確実に還元する取組みとともに、関係機関と連携した地域の課題解決に向けた取組みを推進する。

- アドミッションセンターでは、全学的な入試制度の基本方針をもとにして、令和4年度入試に向けた具体的な制度設計を行う。また入試制度改革元年である令和3年度入試を確実に実施するとともに、入試方法や合否判定の妥当性等、全学的な入試検証を行う。(No. 27)
- 令和元年度に採択された「しまね地域研究センタープロジェクト研究助成金」事業（計6件）の成果報告を行うとともに、制度の拡充を図り、自治体、県内中小企業、NPO法人、中山間地域研究センター等の教育研究機関との連携を強化する。(No. 50)

4. 国際交流・海外留学等の促進

国際交流事業を通じたグローバル（グローバル）人材育成の促進を図る。

- 留学をはじめとする学生の国際交流の促進に向けて、各キャンパス間の連携強化を図る。(No. 29-4)
- 開学20周年記念事業の一環として各キャンパスで実施する国際交流関連事業等を通じて、海外協定大学等との関係強化及び交流促進を図る。(No. 63-3)

5. 理事長・学長のリーダーシップのもと機動的かつ戦略的な運営を行う大学

- IR室において、引き続き入試や教育研究、就職などの情報を収集・分析・評価することにより、戦略的な大学運営を行う。(No. 31)